

株式会社カンセキ 第36期決算説明資料

(2009年3月1日～2010年2月28日)



2010年6月
株式会社カンセキ

当社は、「住まいと暮らしを豊かに快適にするための商品とサービスを提供し、地域の皆様の生活文化の向上に役立つ」を経営理念として、1975年の創業より主力であるホームセンター事業を核に、アウトドア専門店など複数の事業を展開してまいりました。

私どもが目指しますのは、当社独自の「ネットワーク型業態融合」であり、複数の業態を組み合わせることによって、日常における「快適な暮らしの創造」から、「人生を豊かにするライフスタイルの提案」に至るまで、様々な顧客ニーズに対応することが可能になります。

その実現に向け中核を担うホームセンター事業では、栃木県を中心とする自社商圏において、地域特性を捉えた新しい出店政策による業容の拡大を進めてまいります。また、30余年の間、地元密着の経営で培ってきた当社独自のノウハウに更なる磨きをかけるとともに、スローガンとして掲げる「お客様にとって、安心・親切・便利な店」の徹底に努め、地域の皆様に愛される「地域一番店」であり続けるために、たゆまぬ努力を重ねてまいります。

代表取締役 長谷川 静夫

主な事業内容

当社グループにおける事業のセグメントとしては、主管事業として「ホームセンター」「WILD-1」ならびに補完事業として「食品販売」「リユース」「不動産賃貸」「飲食」の各事業があります。



HOME CENTER
カンセキ

生活を楽しく
豊かで快適にするため…

DIY用品、家庭用品、カー・レジャー用品、文具、食品等の販売を行っておりますが、特にペット、自転車、住まいのお手伝いについて専門分野として注力しております。



pet planet **ペットプラネット**

ペットを愛する
人たちの暮らしを楽しく



NEO **CYCLISTA**
ENJOY YOUR CYCLE SCENE.

サイクルライフの
多種多様なニーズに応えます



住マイル **応援隊**

住まいの「あれこれ」を
お手伝いする身近な存在



WILD-1
OUTDOOR LIFE STORE

コミュニケーションの場
そして情報発信基地

アウトドアライフ関連用品の販売とともに、アウトドア・イベントの実施や、全国のアウトドア・フィールドとの提携により、アウトドアライフを推奨しております。



プロの品質とプロの価格
業務スーパー

「食」をテーマに
品質第一の商品をご提供

業務用食材における「食の製販一体」の強みを発揮し、「エブリディ・ロープライス」「食の安心・安全」に取組み、「食卓応援&爆弾価格」などのキャンペーンの実施により、業務需要以外に一般のお客様からも支持を得ております。



OFF HOUSE.
オフハウス

商品をクリーニングして提供
リユース・リサイクル

環境問題への関心が高まる中、地域のお客様へ「リユース・リサイクル」を基本とした循環型の消費を提案しております。

2010年2月期の総括

当連結会計年度(2009年3月1日から2010年2月28日まで)における国内経済は、長引く経済不況の中、エコ関連減税などの景気浮揚策により一部で回復の兆しが見受けられるものの、急激な円高、消費者物価の下落などの影響を受け、企業の収益環境は厳しさを増しております。依然として雇用情勢や所得環境の先行きの不透明感を拭うことはできず、個人消費は低迷したまま推移いたしました。流通小売業界におきましては、消費者防衛意識の高まりからの節約志向に対応した商品価格の値下げによる低価格競争の激化や、暖冬の影響等による季節商品の伸び悩みなど引続き厳しい経営環境でありました。このような状況の中、当社グループは自社開発商品の導入や経費節減による利益率の改善、在庫の効率化を継続して取組み、効率的な店舗運営ならびに商品政策と品揃えの再構築に努めるとともに、更なる収益性の向上と財務体質強化を目的としてホームセンター3店舗を閉鎖いたしました。

このような状況を受け、当社グループにおける当連結会計年度の営業収益は313億80百万円(前期比7.0%減)となりました。粗利益率の向上ならびに販売費一般管理費の経費削減効果もあり、営業利益は6億81百万円、経常利益は2億71百万円となりました。特別損失として、会計基準変更に伴う期首棚卸商品に含まれる変更差額84百万円をたな卸資産評価損額として計上するとともに、投資有価証券の減損処理に伴う投資有価証券評価損21百万円、ホームセンター3店舗の閉鎖に関わる損失額1億22百万円を計上することとなりましたが、当期純利益は16百万円を計上し、前連結会計年度と比較し営業利益、経常利益、当期純利益において大幅な増益を達成いたしました。

2010年2月期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

資産の部				負債/純資産の部			
区分	当連結会計年度 (2010年2月28日)	前連結会計年度 (2009年2月28日)	前期比	区分	当連結会計年度 (2010年2月28日)	前連結会計年度 (2009年2月28日)	前期比
流動資産	5,992	6,727	89.1%	流動負債	11,134	11,700	95.2%
商品	4,141	4,435	93.4%	短期借入金	5,536	5,578	99.2%
その他の流動資産	1,851	2,291	80.8%	一年以内返済予定の 長期借入金	1,412	1,442	97.9%
固定資産	21,030	21,649	97.1%	その他の流動負債	4,185	4,680	89.4%
有形固定資産	16,636	16,997	97.9%	固定負債	12,028	12,861	93.5%
無形固定資産	819	769	106.4%	社債	25	131	19.1%
投資その他の資産	3,574	3,882	92.1%	長期借入金	9,754	10,796	90.3%
繰延資産	0	0	69.2%	その他の固定負債	2,249	1,934	116.3%
				負債合計	23,162	24,562	94.3%
				株主資本計	3,868	3,851	100.4%
				評価・換算差額等	△ 7	△ 36	—
				純資産合計	3,860	3,814	101.2%
資産合計	27,023	28,377	95.2%	負債及び純資産合計	27,023	28,377	95.2%

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当連結会計年度より財務諸表等の一部を改正する内閣府令が適用されたことにより、前連結会計年度の表示を変更しております。

2010年2月期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	当連結会計年度 (自 2009年3月1日 至 2010年2月28日)		前連結会計年度 (自 2008年3月1日 至 2009年2月28日)		前期比
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	
売上高	29,988		32,408		92.5%
売上総利益	8,286	27.6%	8,831	27.3%	93.8%
営業収入	1,392	4.6%	1,319	4.0%	105.6%
営業総利益	9,679	32.3%	10,151	31.3%	95.4%
販売費及び一般管理費	8,997	30.0%	9,740	30.0%	92.4%
営業利益	681	2.3%	410	1.3%	166.0%
経常利益 または経常損失(△)	271	0.9%	△ 142	-	-
当期純利益 または当期純損失(△)	16	0.1%	△ 319	-	-

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

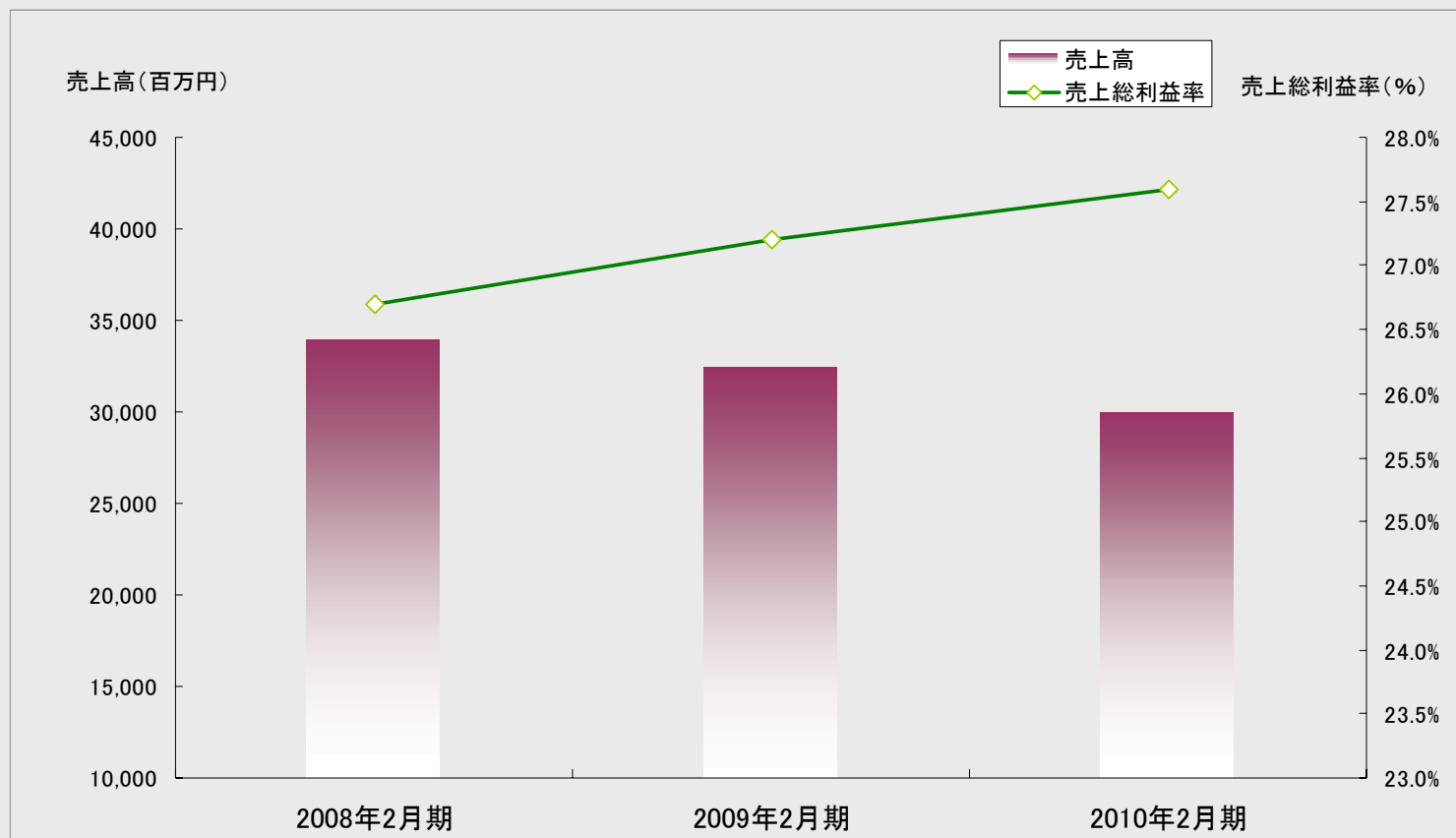
	当連結会計年度 (自 2009年3月1日 至 2010年2月28日)	前連結会計年度 (自 2008年3月1日 至 2009年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	704	923
税金等調整前当期純利益または損失(△)	47	△ 247
減価償却費	494	488
退職給付引当金の増加	116	79
受取利息及び受取配当金	△ 6	△ 8
売上債権の減少	18	6
たな卸資産の減少	293	265
仕入債務の増加(△減少)額	△ 541	193
その他	282	145
投資活動によるキャッシュ・フロー	216	96
有形固定資産の取得	△ 132	△ 328
無形固定資産の取得	△ 18	△ 29
保証金・敷金の差入による支出	△ 18	△ 65
保証金・敷金の回収による収入	342	457
預り保証金の返還による支出	△ 45	△ 55
預り保証金の受入による収入	92	79
その他	△ 2	38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,247	△ 1,223
短期借入金の増減	△ 42	394
長期借入による収入	300	40
長期借入金の返済による支出	△ 1,372	△ 1,514
社債の償還による支出	△ 106	△ 106
その他	△ 26	△ 36
現金及び現金同等物の減少額	△ 325	△ 204
現金及び現金同等物の期首残高	1,388	1,592
現金及び現金同等物の期末残高	1,062	1,388

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(百万円)

	2008年2月期	2009年2月期	2010年2月期
売上高	33,925	32,408	29,988
売上総利益	9,060	8,831	8,286
売上総利益率	26.7%	27.2%	27.6%

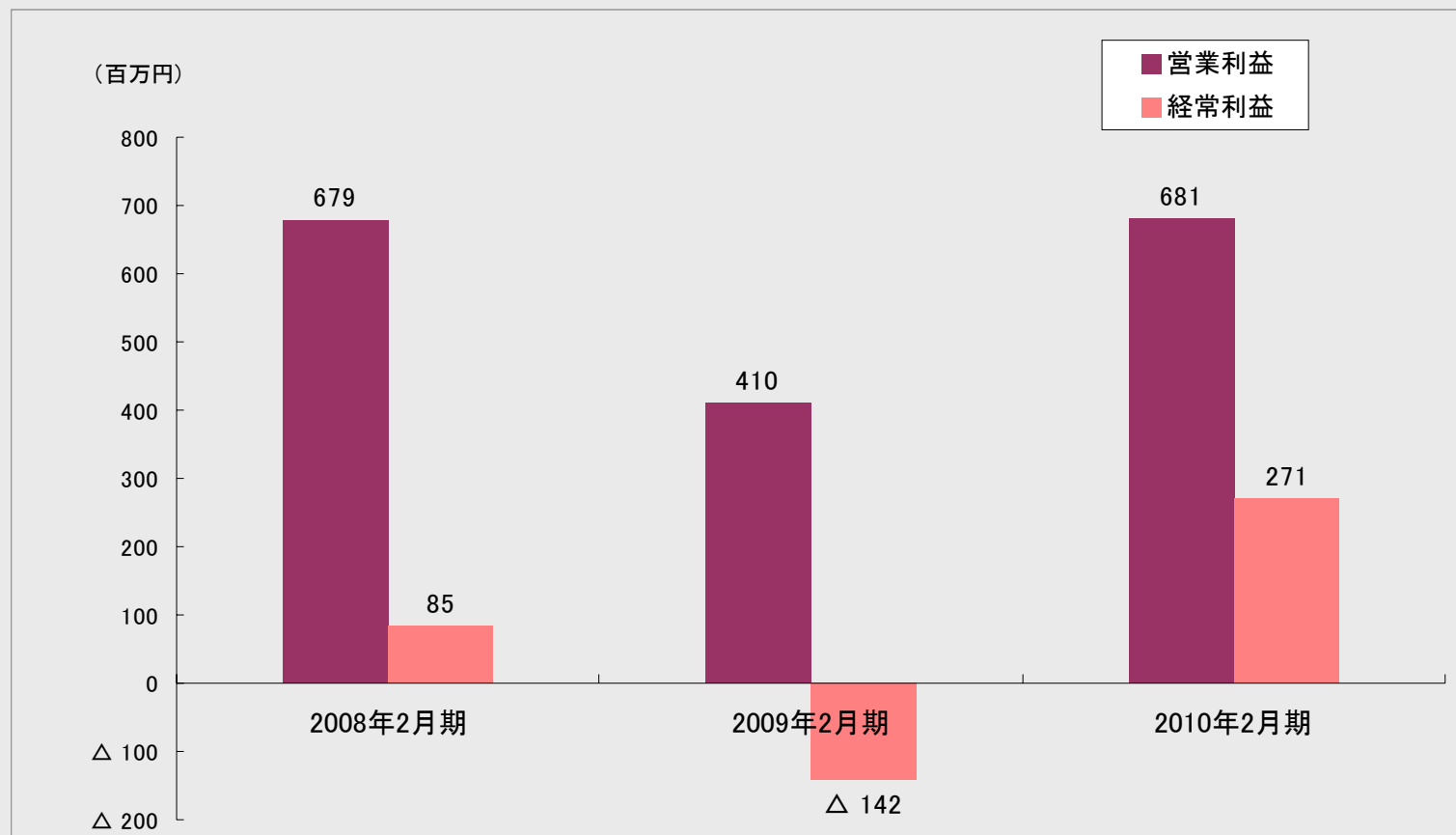
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2008年2月期が連結会計初年度となります。



(百万円)

	2008年2月期	2009年2月期	2010年2月期
営業利益	679	410	681
経常利益	85	△ 142	271

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2008年2月期が連結会計初年度となります。



事業の種類別セグメント営業収益(連結)

(単位:百万円)

事業	当連結会計年度 (自 2009年3月1日 至 2010年2月28日)		前連結会計年度 (自 2008年3月1日 至 2009年2月28日)		営業収益伸長率	構成比増減
	営業収益	構成比	営業収益	構成比		
ホームセンター	20,875	66.5%	23,174	68.7%	90.1%	△ 2.2%
WILD-1	5,267	16.8%	5,323	15.8%	98.9%	1.0%
不動産賃貸	1,071	3.4%	1,014	3.0%	105.6%	0.4%
食品販売	2,909	9.3%	2,916	8.7%	99.8%	0.6%
リユース	966	3.1%	958	2.8%	100.9%	0.3%
飲食	350	1.1%	404	1.2%	86.7%	△ 0.1%
小計	31,441	100.2%	33,792	100.2%	93.0%	-
消去	△ 60	△ 0.2%	△ 64	△ 0.2%	94.0%	0.0%
合計	31,380	100.0%	33,727	100.0%	93.0%	-

(注) 営業収益=売上高+営業収入

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。また、消費税等は含まれておりません。

ホームセンター …DIY用品、家庭用品、カー・レジャー用品、文具、食品等

WILD-1 …アウトドア用品

不動産賃貸 …不動産賃貸等

食品販売 …業務用食材等

リユース …リサイクル商品

飲食 …飲食店

2011年2月期の業績予想(連結)

	2010年2月期	2011年2月期(予想)	前期比
売上高(百万円)	29,988	28,345	94.5%
営業利益(百万円)	681	710	104.2%
経常利益(百万円)	271	343	126.1%
当期純利益(百万円)	16	102	612.4%
1株当たり 当期純利益	1円13銭	6円89銭	609.7%

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2011年2月期の取組みについて(対処すべき課題)

効率的な店舗運営

マーチャンダイジングの再構築

利益率の改善

在庫の効率化

ドミナントエリアにおける深耕
(地域のお客様との繋がり)

より良いサービス (Good Service)

接客技術の向上

顧客満足度の向上

商品知識・技能の習得

ご注意

- 本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ



株式会社カンセキ 総務部

TEL 028-658-8123

FAX 028-659-3621